

地上デジタル放送の受信について

2011年(平成23年)7月24日までに現在のテレビ放送(アナログ放送)は終了し、地上デジタル放送に完全移行されます。

それ以降は、従来のテレビのみでは放送を見ることができなくなるため、デジタルチューナーなどの機器を買い足すか、地上デジタル放送対応のテレビに買い替える必要があります。

多古町周辺では、平成21年3月に地上デジタル放送の下総光局と佐原局が開局する予定となっており、アナログ放送が終了するまでの間は、デジタルとアナログ双方の放送が発信されます。

アナログ放送終了時まで、各家庭において必要な受信機器を整備しましょう。



テレビや録画機器を購入する際は、このマークを目印に

地上デジタル放送を見るために必要なもの

【従来のテレビを使用する場合】

- ①デジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵の録画機器
- ②地上デジタル放送対応のUHFアンテナ
- アナログテレビの場合
⇒標準画質・高音質で見ることができます。
- ハイビジョンテレビまたはD3 / D4端子付きテレビの場合
⇒ハイビジョン画質・高音質で見ることができます。

【新しくテレビを買い替える場合】

- ①地上デジタル放送対応のテレビ
- ②地上デジタル放送対応のUHFアンテナ



詐欺にご注意ください

「地上デジタル調査員」を名乗る者が、電波の調査を理由に各家庭を訪問するという事案が発生しています。不当な費用を請求される恐れがありますので、十分ご注意ください。

共同受信施設の今後について

多古町内には、難視聴対策として設置されたNHKの共同受信施設、電波障害対策として設置された東京電力(株)や成田国際空港(株)の共同受信施設があります。

これら共同受信施設の今後については、次のとおりです。

【NHKの共同受信施設】

堀之尻地区で利用されている世帯があります。

NHKにおいて、当該地区における地上デジタル放送の受信状況を調査し、結果が出ましたら地区の皆さんにお知らせします。

【東京電力(株)の共同受信施設】

喜多地区の一部と高津原地区で利用されている世帯があります。

東京電力(株)において、当該地区における地上デジタル放送に対する送電線の影響の有無や受信状況を調査し、結果が出ましたら地区の皆さんにお知らせします。

【成田国際空港(株)の共同受信施設】

町内の各地区で利用されている世帯があります。

成田国際空港(株)において、当該地区における地上デジタル放送に対する航空機の影響の有無や受信状況を調査し、結果が出ましたら地区の皆さんにお知らせします。

お問い合わせ

●多古町役場企画財政課企画空港対策係 ☎76-5409

●総務省地デジコールセンター

0570-07-0101
(IP電話の場合は☎03-4334-1111)
午前9時～午後9時
(土・日・祝日は午前9時～午後6時)

税についての作文 多古中から3名が入賞!!

租税教育の一環として、納税貯蓄組合連合会が募集する「中学生税についての作文」。

厳正な審査の結果、今年度多古中学校から3名の作文と1名の標語が優秀作品に選ばれました。

その中で、全国納税貯蓄組合連合会長賞に輝いた、津島さんの作文を紹介します。

全国納税貯蓄組合連合会長賞 自分たちのための「税金」

津島 由季さん
(多古中3年/高津原)



7月の初め、町の文化ホールで「町づくりフォーラム」という催し物がありました。

私たちプラスバンド部は、オープニングとしてステージでの演奏を行いました。そしてその後、医療についての講演を聞く機会がありました。

私たちは、具合が悪くなると当然のごとく病院に行きます。その医療費は、子どもながらに「高い」と感じていました。ただ、病気が良くなるのだから患者の負担が多い、つまり高くても「仕方がない」とも思っていました。しかし、この講演を聞いて、日本の医療費は外国に比べると患者の負担が「少ない」ということを知りました。これは驚きでした。そして、その理由を調べてみると、保険によって「7割」の補助があるため、私たち患者の負担が「3割」であること、その保険は、私たち国民が納めている税金でまかなわれていることがわかりました。

わたしの曾祖母は現在91歳。高齢のため耳は少し遠いものの、日常生活をしていく上で誰の補助もかりることなく生活しています。しかし、いつも元気な曾祖母が体調を崩し、7月の中旬から病院に入院しました。原因を調べるために、いくつもの検査を受けたそうです。また、2週間以上の入院となったため、入院に関わる費用も相当かかるはずでした。しかし、その検査や入院に関わる費用の多くは、保険によってまかなわれたため、予想以上に負担が少なかったそうです。

社会の授業で習った「国民の三大義務」の一つに「納税の義務」があります。もちろん私の中には「税

金はきちんと納めなければならない」という認識があります。ところが新聞やテレビのニュースを見ていると、税金は取られるだけというマイナスのイメージをもっている人が多く、税金を支払わない人も後を絶ちません。これは、税金が社会保障をはじめ、何に使われているかわからないという認識の不足や、税金がみんなのために正しく使われていないのではないかという不信感が原因なのではないかと思います。

今回私は、曾祖母の入院を通して、税金についての考え方が大きく変わりました。税金を納めることは国民の義務ですが、それ以上に、私たちが健康でこころ豊かに過ごすことのできる社会を築いていくための大きな要因の一つであると考えられるようになったからです。そう考えると、税金とは、私たちが安心して幸せな生活をおくるうえで、とても大切なものだといえます。これからの日本はますます少子高齢化社会が進むことが予想されます。だからこそ、若い世代の私たちが税金にもっと興味をもたなくてはならないと思います。そして、税金に対して正しい知識をもち、その使い道についての理解を深めていくことが大切だと思います。自分たちのための「税金」なのだから…。

そのほかの入賞者は次のとおりです。

●作文の部

千葉県納税貯蓄組合総連合会長賞

『めぐりめぐる税』

石井 愛さん
(多古中3年/水戸)



佐原税務署管内納税貯蓄組合連合会賞優秀賞

『生活と税』

谷 壘寿香さん
(多古中3年/二本松)



●標語の部

佐原間税会賞優秀賞

『税金は身近な場所で 生きている』

加藤 翔平さん
(多古中2年/柏熊)

